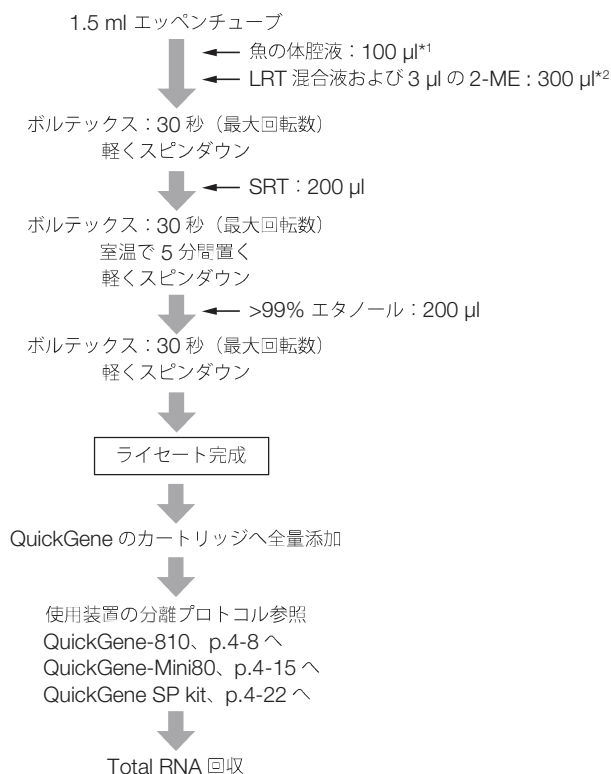


3-XIV 章

魚および貝からの total RNA分離

魚の体腔液からの total RNA分離

プロトコル



*1 凍結と融解が繰り返された場合、6,800×g で3分間遠心して上清を採取する。

*2 LRT 混合液：キャリアー RNA 310 mg を 11.6 ml の LRT に溶解してください。

結果

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

データなし

タンパク質の混入：A260/280

体腔液の量	A260/280
100 µl	1.6

カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

その他

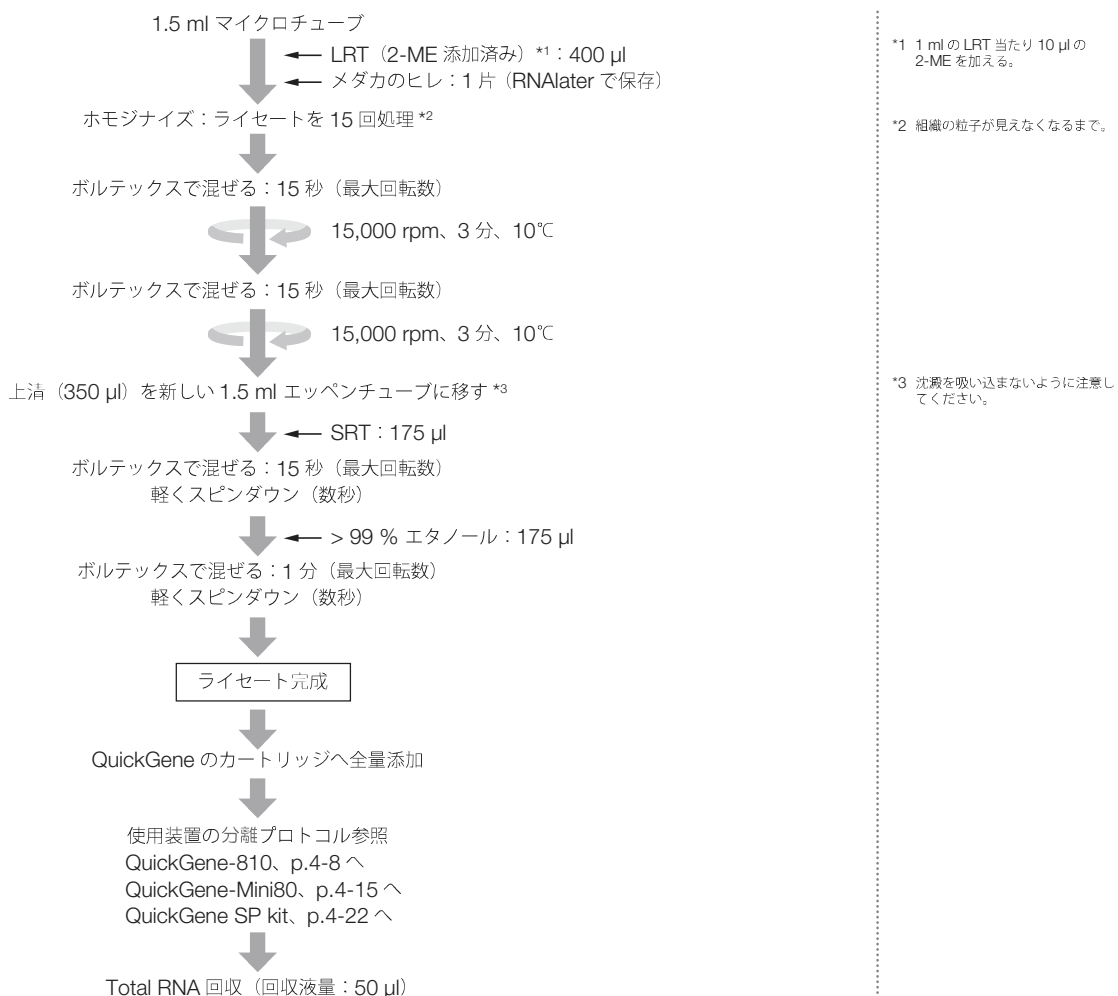
データなし

共通プロトコルサンプル

データなし

メダカヒレ（鰭）からの total RNA 分離

プロトコル



結果

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量

ヒレの量	収量 (µg)
1 片	2.0

■ タンパク質の混入: A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入: A260/230

データなし

■ その他

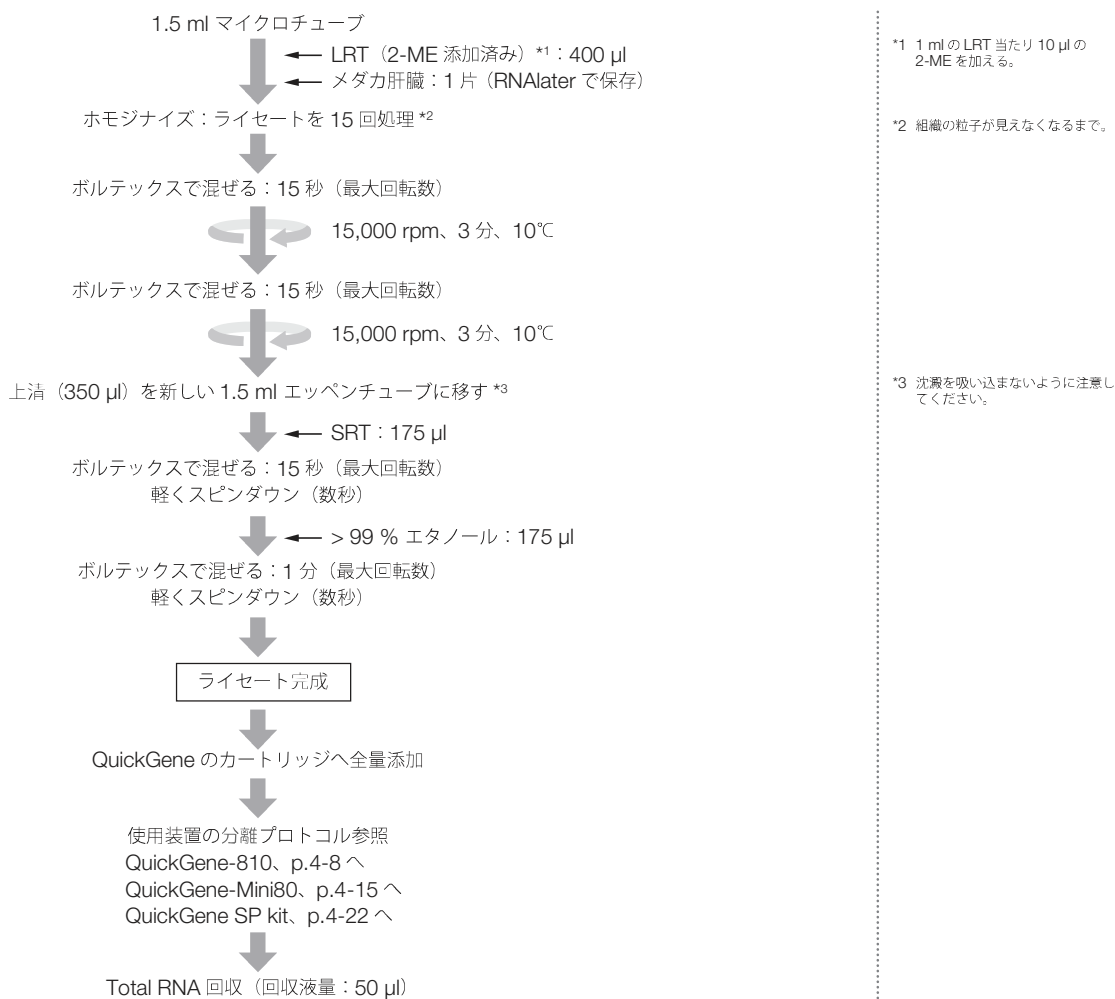
データなし

共通プロトコルサンプル

メダカ肝臓

メダカの肝臓からの total RNA分離

プロトコル



結果

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

肝臓の量	収量 (µg)
1 片	約 20.0

タンパク質の混入 : A260/280

肝臓の量	A260/280
1 片	2.1

カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

メダカのアヒレ